

道路事業におけるB／Cの総点検について

平成23年2月14日

中部地方整備局 道路部

平成23年度予算に向けた個別公共事業評価及び総点検の実施

■背景

- ・事業評価の前提となる将来交通需要推計について、予測と実績値の乖離。
- ・交通機関毎に独自の需要推計。

■目的

- ・事業評価の前提となっている将来交通需要推計について信頼性、透明性を確保。
- ・社会資本整備の二重投資を防ぎ、料金施策等の影響の事前把握を可能とするため、関係府省と共有可能な各交通機関共通の統合モデルを検討。

■経緯

- ・平成22年4月 事業評価の前提となる将来交通需要推計について、これまでの推計手法の課題を検証し、改善策を検討するため「将来交通需要推計検討会議」を設置。
- ・平成22年8月 中間とりまとめとして平成23年度予算要求に反映させる第一段階の改善策を発表。
- ・平成23年1月 第一段階の改善を踏まえた将来交通需要推計に基づき総点検を実施。

■今後の方針

- ・今年度事業評価を実施した事業について、 $B/C > 1$ の事業は継続。 $B/C \leq 1$ の事業は再評価を予定。

費用便益比（B／C）点検結果公表

○点検結果公表（平成23年2月1日）

- ・改善した将来交通需要推計手法により推計を行い、平成23年度予算に関する個別公共事業のB/Cの総点検を実施。
- ・将来交通需要推計手法の主な変更点
 1. 生成交通量推計手法の改善
推計モデル及び将来フレーム設定を統一
 2. 需要推計に係る条件設定の変更
ネットワークの設定について、現況に加え、事業化済みの箇所を考慮

道路事業（直轄事業）

	B/C ≤ 1	B/C > 1	計
中 部	0	54	54

※防災面の効果が特に大きい事業（3事業）は除く

※防災面の効果が特に大きい事業については、3便益以外の効果も整理した上で評価することとしている。